

3. rysisで解析する

撮影が終了したらrysisで解析を行います。

1 撮影した画像をパソコンに取り込む。

💡 ヒント

パソコンへの取り込み方法は、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

2 デスクトップ上のrysisアイコンをダブルクリックする。

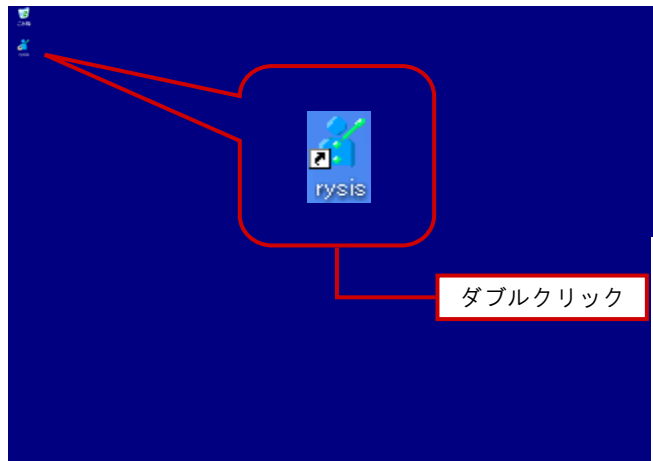
メイン画面が表示されます。

💡 ヒント

【別の方法】

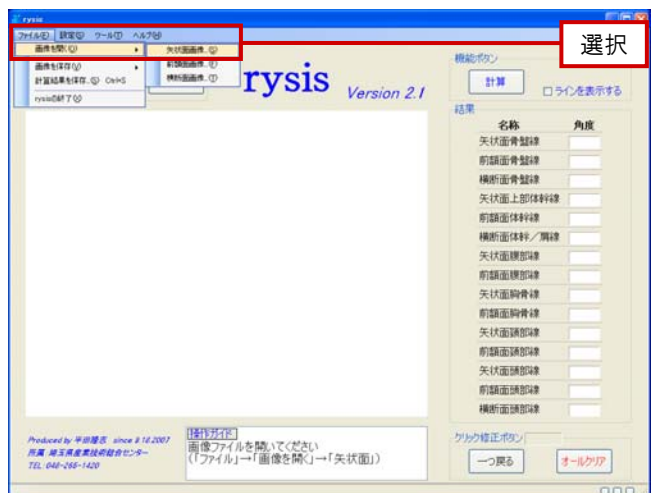
次の方法でも起動できます。

- ◆ スタートメニューから「rysis」を選択



3 「ファイル」→「画像を開く」→「矢状面画像」(または、「前額面画像」、「横断面画像」)を選択する。

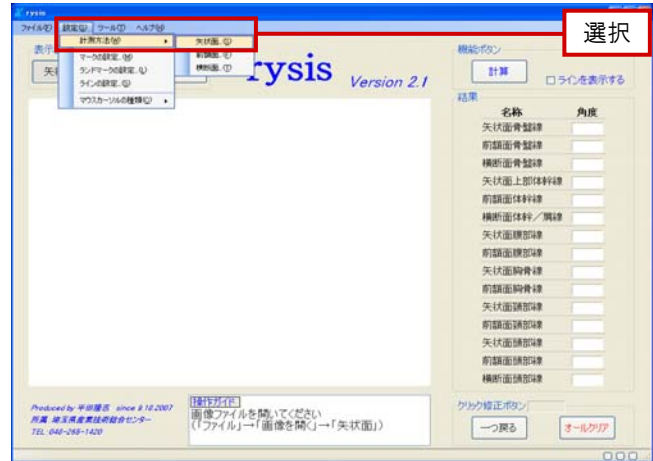
撮影した画像が表示されます。



4

「設定」→「計測方法」→「矢状面」（または「前額面」、「横断面）」を選択する。

「計測方法の測定」画面が表示されます。



5

ランドマーク名ごとに、「ダイレクト測定」、「指示棒測定」、「測定しない」のいずれかを選択する①。

「OK」ボタンをクリックする②。

メイン画面に戻ります。



6 操作ガイド(①)に従い、ランドマークをクリックする②。

クリックした場所が赤丸で表示されます。

操作ガイドに従い、順次作業を繰り返します。

ヒント

- ・ランドマークの場所を微調整したい場合は、「クリックアシスト機能」を使用します。「クリックアシスト機能」の使い方については「■ ランドマークの場所を微調整する」(P.16)を参照してください。
- ・「ラインを表示する」にチェックを入れる(③)と、ランドマークを結んだライン(身体節線)および傾斜の基準線が表示されます。これにより、視覚的に傾斜度合が分かるようになります。
- ・クリックする場所を間違えた場合、「一つ戻る」ボタンをクリックすることにより、一つ前の状態に戻ります。また、「オールクリア」ボタンをクリックすることにより、赤丸を全消去できます④。
- ・「設定」→「マークの設定」、「ランドマークの設定」、「ラインの設定」、「マウスカーソルの種類」で、それぞれの色、太さなどの表示方法を変更できます。



7 指示棒測定を行うため、指示棒測定用の画像を開く（手順「3」参照）。

右は指示棒測定用に画像を変更した例です。



8 指示棒測定の場合、1本の指示棒につき2点（指示棒は2本あるので、計4点）をクリックする。

右は、指示棒上の4点をクリックしたところの例です。

ヒント

指示棒上でのクリックする場所は任意ですが、1本の指示棒上のそれぞれの点は、お互いを離すことにより誤差が減少します。



注意

指示棒をクリックする際は、必ず次の順番で行ってください。

1. 1本目（片方）の指示棒上の任意の点
2. 1本目（最初にクリックした方）の指示棒上の別の任意の点
3. 2本目（もう片方）の指示棒上の任意の点
4. 2本目の指示棒上の別の任意の点

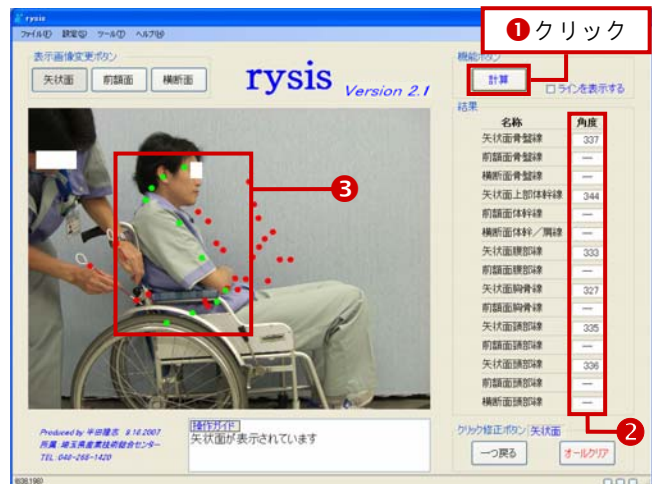
9 指示棒測定の分、「手順7」、および「手順8」を繰り返す。

10 クリックが終わったら、「計算」ボタンをクリックする①。

「結果リスト」に座位姿勢が角度で表示されます②。
またランドマークが緑色の点で表示されます③。

ヒント

「ファイル」→「計算結果を保存」で、「結果リスト」に表示されている計算結果を保存できます。



注意

一度「計算」ボタンをクリックした後、引き続きランドマークや指示棒をクリックすると、「計算」ボタンの表示が赤くなります。また、このとき「結果リスト」はグレーになります。

(「計算」ボタンをクリックした後に、「一つ戻る」ボタンをクリックした場合も同様です。)

これは、「結果リスト」に表示されている計算結果が最新ではないことを示しています。

最新の計算結果を表示させる場合は、再度「計算」ボタンをクリックしてください。

以上で解析は終了です。

■ ランドマークの場所を微調整する

ランドマークの場所を微調整する場合は、「クリックアシスト機能」を使用します。
次に使用方法について説明します。

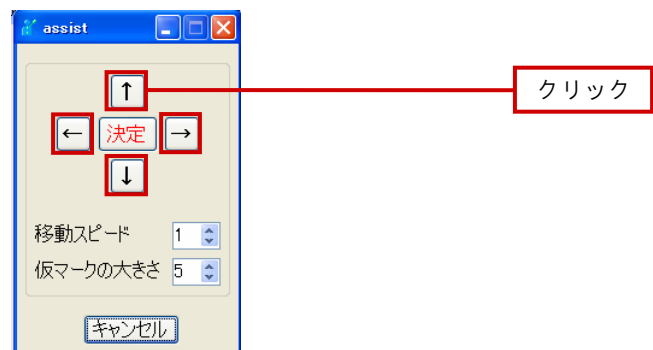
- 1** 「ツール」→「クリックアシスト」を選択する。
「操作ガイド」に、赤字で「クリックアシスト」と表示されるようになります。



- 2** 画像上の任意の点をクリックする。
「クリックアシスト仮想十字キー」が表示されます①。
また、クリックした場所にオレンジの点が表示されます②。



- 3** 「クリックアシスト仮想十字キー」をクリックする。
オレンジの点が移動します。



- 4** ランドマークの位置が確定したら「決定」ボタンをクリックする。

